企業・団体名（　株式会社フカサワ　）

SDGs達成に向けた取組チェックリスト

・期待レベルが「基本」の項目（黄色マーク項目）は、必須記載項目です。
・期待レベルが「応用」の項目は、該当がある場合に記載してください。

様式第3号

【基本的な事項】

	カテゴリ	チェック項目 【SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項（例）】	期待レベル	・環境 ・社会 ・経済	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働	【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している	基本	社会	・雇用、教育、昇進・登用、福利厚生などあらゆる雇用条件で、個々の努力、能力に対しての判断基準を明確化し、差別のない体制づくりを社会保険労務士を交えて構築している。					○			○		○						○	
2		【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている	基本	社会	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している。 ・ハラスメント研修への積極的な参加、掲示物での周知					○			○								○	
3		【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない	基本	社会	・長時間労働是正のため、時間外労働及び休日労働に関する労使協定に基づき、社会保険労務士の指導により限度を儲け、勤務時間における調整・対応をおこなっている。 ・有給休暇の半日単位での取得、やむを得ない理由による休日出勤の振替休日の奨励、かつ有給休暇活用のための奨励日など経営者が積極的に推進している。								○									
4		【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している	基本	社会	「非該当」 ・外国人労働者は現在雇用実績がないため、今後検討していきたい。				○				○		○							
5		【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている	基本	社会	・社員各自への外部での労働安全衛生講習会への参加を実施 ・講習会への参加費及び賃金全額補助 ・社内及び各現場ごとの安全注意喚起ポスターの掲示による周知徹底 ・現場単位におけるKY活動の徹底			○					○									
6		【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している	基本	社会	・毎月の定例会議においてストレスチェック一次予防（メンタル不調の予防）に関するチェックシートによる判定の実施。（必要に応じて二次予防（早期発見・早期対応）に関するチェックシートによる判定実施）			○														
7		【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている	基本	社会	・高齢者においては、定年後の再雇用制度及び短時間労働の勤務体制の対応を個々に設け、得意とする分野での職務を遂行できるようサポートしている。 ・障害者においては、通院を考慮した労働時間の対応及び労務補佐の対応など柔軟に調整を行い、安定した働き方が出来るようサポートしている。 ・一人親世帯、子育て中の女性において、仕事と子育ての両立に対し労働時間の調整及び急な長期休暇など柔軟に対応している。					○			○		○							
8		【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる	応用	社会	【予定】 ・都道府県協会けんぽ、健保連に「健康企業宣言」を行う			○					○									
9		【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している	応用	社会、経済	・職務や役割に応じた研修、講習会受講の促進 ・個々においてのスキルアップや資格取得の為の費用・賃金の補助				○				○	○								
10		【雇用形態にかかわらない公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている	応用	社会、経済	「非該当」 ・取得資格によって雇用形態及び給与手当が異なる為								○		○							

11	環境	【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	基本	環境	・廃棄物の種類別に分別を徹底し、廃棄物の量を把握し、削減に努めている。										○	○		○			
12		【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	基本	環境	・自社の使用する電気に社屋屋根に設置した太陽光発電システムと蓄電池の使用によりエネルギー利用の効率化を図っている。 ・社屋の照明は、95%がLED照明に交換し省エネ対策に努めている。						○						○				
13		【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、削減を進めている	基本	環境	・算出ツールを利用し、温室効果ガス排出量を把握し、削減に努めている。 ・現場において稼働する重機においては、温室効果ガス低排出対応の機種の使用に努めている。						○					○	○				
14		【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	基本	環境	・自社において使用する有害化学物質において、法令で定められている物を把握し、適切な使用に努めている。			○			○				○	○					
15		【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	環境	・環境に配慮した材料、製品、サービスの提供を通じて生態系に悪影響を及ぼさないように配慮している。						○								○		
16		【水の管理】 ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	応用	環境	・自社の水の利用状況を適切に管理し、使用目的によって井戸水の利用をするなど、利用効率の改善に努めている。						○										
17		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	応用	環境	【予定】 ・今後、規格取得を検討			○			○	○					○	○	○	○		
18		【環境情報開示】 ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している	応用	環境	・可能な限りコピー用紙の裏面を利用している。 【予定】・サステナビリティー活動をホームページを通じて開示していきたい。												○				
19		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用を進めている	応用	環境	・自社の使用する電気に社屋屋根に設置した太陽光発電システムと蓄電池の利用。							○						○				
20		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	応用	環境	・認証製品（県産材による残存型枠、溶融スラグ入り生コンクリート）の利用												○	○	○	○		
21		【３Rの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	応用	環境	・種類別の分別廃棄を徹底し、特に海洋汚染につながるプラスチック製容器包装への対応として使い捨てプラステック使用の削減、再資源化に努めている。 ・現場において資源の再利用、再資源化、資源利用の削減に取り組んでいる。						○				○	○	○	○	○		
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・汚職、贈収賄等を含む行動規範の整備及び社内掲示の実施															○	
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している	基本	社会	・不正競争行為を含む行動規範の整備と社内掲示の実施															○	
24		【知的財産保護】 ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている	基本	社会	・自社における企業秘密（工法、資材の配合、設計・施工図面、仕様書、見積書、発注者リスト、施工計画書等）の管理及び技術流出防止に努め、かつ工事現場における各種計測データや施工写真データなど指定された場所以外への持ち出しを規制し、適切に保護、保存をする取り決めをしている。								○	○							
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	社会	・「個人情報に対する基本方針」を定めて公表するとともに、契約時には書面にて情報管理のルール説明を行っている。															○	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	応用	社会	・紛争鉱物一覧を確認し、業務上の取り扱いのないことを確認している。															○	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	応用	社会	・取引先との対話を基本に取引先の登録時、下請契約時の契約基本約款で取引内容を明確にし、工事における施工体制の構築においても適切な対応を行っている。					○			○		○		○	○	○	○	○	○
28	製品・サービ	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	経済	・ISO9001の認証をとおして、施工計画書に基づき安全性を確保するため、KY活動や社内パトロールの実施等、取り組みを確立している。			○									○					
29		【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している	基本	経済	・ISO9001の認証をとおして、品質目標を掲げ社員一同チーム一丸となって顧客に満足の頂ける高品質の製品を提供できるよう、取り組みを確立している。									○								

30	ス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	応用	経済、環境	・計画段階から顧客のニーズを満たしながら環境に配慮した製品の使用提案及び設計施工に努めている。						○						○	○	○	○		
31		【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	応用	社会、経済	・建設業における人手、技術者不足から、ICT施工を促進し労務の省力化に取り組んでいる。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	基本	環境、経済	・地域で発生する豪雨、地震、豪雪などの自然災害に対しての応急復旧への迅速な対応を心掛けている。 ・各工事現場においては、大気における環境の保全、排出ガス対策型建設機械の使用、工事用車両による走行粉塵の防止などの配慮に心掛けている。				○					○		○	○		○	○		○
33		【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	応用	社会	・地域におけるボランティア活動の実施（除草作業等）及び地域との防災協定など、「地域のために貢献できる企業」であることを品質目標に掲げている。				○							○			○	○		○
34		【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	応用	環境、社会、経済	・県産材の利用促進に努めている。 ・特殊な工法、施工技術を要しない施工においては、積極的に地元の下請業者を利用するよう努めている。								○	○		○	○	○				
35	組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内に十分浸透している	基本	社会	・ISO9001の活動により、コンプライアンスの重要性を掲示等により発信している。																○	
36		【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている	基本	環境、社会、経済	・ISO9001の活動により、経営理念、経営目標を明確にし、社内に掲示している。 ・経営者自らが毎月の定例会議において目標を達成するための要件など逐次社員に伝え共有を図っている。								○	○								○
37		【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている	応用	社会	・ISO9001の活動をとおして、法令順守の方針、手順を定め整備されている。 ・建設業協会主催の研修会に積極的に社員を参加させている。																○	
38		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている	応用	環境、社会	・組織体系図を構築し担当者、責任者を明確にしている。																○	
39		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている	応用	社会、経済	・環境安全衛生、労働環境においてはヒヤリハットの活用によりマネジメントしている。 【予定】・法令遵守においては今後整備する。																○	
40		【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている	応用	環境、社会	・年一回、地域の老人施設へのタオルの寄付 ・現場単位において近隣道路のゴミ拾い活動																○	
41		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している	応用	社会	・ステークホルダーとの対話をとおして、自社活動の地域における評価や改善点など把握し、適切な対応を心掛けている。																○	○
42		【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	応用	環境、社会、経済	【予定】 ・今後、「事業継続計画（BCP）」の策定、及び「事業継続力強化計画認定制度」の認定申請を検討									○		○		○			○	
43		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	応用	社会、経済	・後継者候補がいる。 ・顧問会計士の指導により後継者育成計画を作成し、遂行している。								○	○								○

【記載留意事項】

・「期待レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合には、「具体的な取組」欄に、【非該当】と記載し、あわせて、その理由を記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック項目に関する具体的な取組を記載してください。　また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

・山梨県として力を入れている項目は、「山梨県総合計画（２０２１年改定版）」に掲載していますので、関連する「具体的な取組」がある場合は、記載してください。また、山梨県が取り組むＳＤＧｓに関する内容（水素・燃料電池、４パーミル・イニシアチブ、アニマルウェルフェアなど）を活用している場合も併せて記載してください。（次項の【その他独自に行っている取組】も同様。）

【その他独自に行っている取組】

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17